

電波観測部門報告 No.222 The Report of Radio Meteor Observation in JAPAN

電波観測部門担当幹事 小川 宏 (Hiroshi Ogawa)

h-ogawa@nms.gr.jp

1. 7月度定常報告

7月は月末にみずがめ座 流星群の活動が活発に検出されています。図1に全国統合グラフを記載しました。7月22日頃から活動が見え始め、7月28日付近で極大となっています。その後は徐々に下がっていますが、Activity Levelで1以上を保持しており、活発な活動が検出されています。その期間以外には目立った活動は捉えられていません。

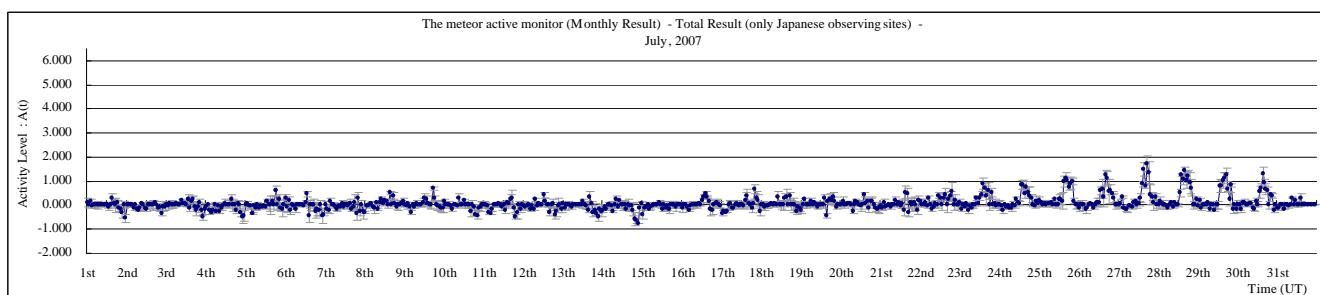


図1 7月度定常報告 (国内統合グラフ)

2. 9月観測指針

9月は、夏の流星群が一段落し、特別な活動が検出されない時期です。若干の昼間流星群が活動はしますが、例年検出することはできていません。2006年9月の国内統合グラフを図2に示します。なお、この時期のデータは通常活動レベルを決める重要な期間です。主要流星群がなくとも観測は重要ですので、各地点継続した観測をお願いいたします。

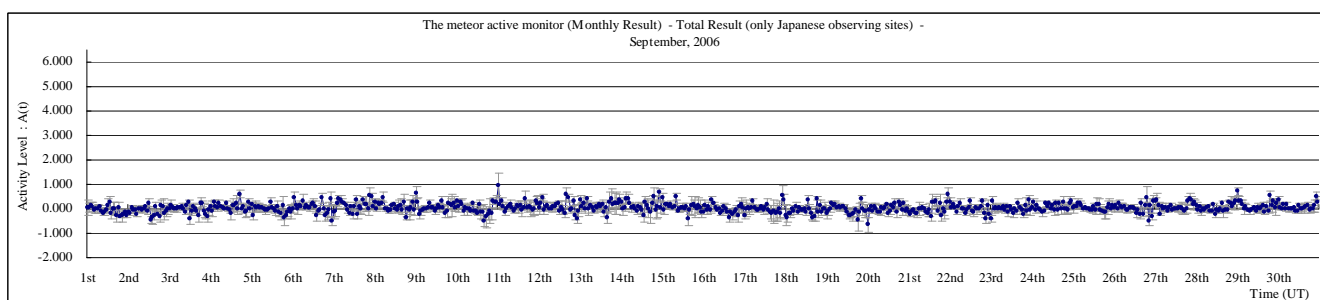


図2 9月度定常報告(2006年) (国内統合グラフ)

みなさんの観測結果や解析 研究結果を是非お寄せ下さい

天文回報では、日本流星研究会会員の方々から寄せられました観測結果や研究・解析結果に加え、流星電波観測国際プロジェクトで報告されているデータを取り扱います。流星電波観測国際プロジェクトについて、詳細は、<http://www.amro-net.jp> をご参照下さい。

みなさまからのご寄稿お待ちしております。原稿等については、Word・一太郎・LaTeX などおおよそのファイル形式では対応できます。Office 2007 も対応可能です。毎月5日を締切とし、翌月天文回報の原稿に掲載させて頂きます。宛先は、h-ogawa@nms.gr.jp まで